

アグー豚を中心とした循環型畜産の確立

(沖縄県：有限会社 我那覇畜産)

取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
			○		

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- ・所在地：沖縄県名護市
- ・代表者：会長 我那覇 明
代表取締役社長 我那覇 崇
- ・飼養頭数：総頭数12,000頭（島黒、やんばる島豚あぐー、やんばるあぐー、琉美豚）
- ・雇用者数：30名（R4.2時点）
- ・HP等：（我那覇畜産HP）<https://shimakuru.jp/>
(販売会社HP) <https://www.ganaha-meat.co.jp/>



アグーを抱える我那覇さん

<取組について>

○ 概要

- ・沖縄本島北部に位置する名護市で養豚繁殖一貫経営を行う。繁殖は全て人工授精。
- ・沖縄県がブランド強化を進めている「アグー」を活用したブランド商品化で、アグーブランド豚の認知、消費拡大に寄与。
※「アグー」とは、沖縄固有の貴重な在来豚。今から約600年前に中国から導入（沖縄県アグーブランド豚推進協議会より）。
- ・飼料として、ウルカル（天然カルシウムの与那国島産化石サンゴ。マグネシウム、カリウム、りん、鉄分など、70余りのミネラルが含まれる）や、再利用したパン粉などを使用。水は山の自然水を利用。
- ・環境対策にも力をいれ、豚舎にバガスを敷き詰め臭いを抑えるほか、排せつ物は自社施設で堆肥化し、販売。
- ・経営発展のため生産部門と販売部門をそれぞれ経営独立化。
- ・県内でも早くから安全・安心でおいしく食べられる豚肉の開発に取り組み、高品質で売れるブランド豚肉の生産を開始するとともに、ブランド別に自社販売と販路を限定した量販店で販売。
- ・衛生管理のため、豚の出荷には、必ず自社トラックを自社従業員が運転。



(有) 我那覇畜産のみなさん



アグー